

# IT点呼で負担減

## 越野運送

【大阪】越野運送（越野泰弘社長、大阪市都島区）は、テレニシ（辻野秀信社長、中央区）が開発する総合クラウド型システム「IT（情報技術）点呼キーパー」を活用して運行管理者の負担軽減や書面などの管理効率化を実現している。

本社営業所のほか、兵庫営業所（兵庫県たつの市）、滋賀営業所（滋賀県甲賀市）に拠点があり、昼・夜の2シフト体制を取っている。従来、営業所に1人ずつ配置していたため、運行管理

アルコールチェッカーとも連携、安全運転にもつなげている



者・点呼者の負担が大きくなっていたという。

Gマーク（安全性優良事業所認定）を取得している

ため、営業所間の点呼を可能にする「IT点呼キーパー」を活用。いずれかの営業所に1人配置していれば点呼を取れる体制に変更し、負担軽減につながった。遠隔地での通信にも対応できるため、長距離輸送時の中間点呼にも活用している。

同システムではクラウド上で点呼結果をデータ化。記録簿の出力も容易となっており、手書きだった導入前よりも大きく簡略できているという。また、デジタル化によるペーパーレスにも役立っている。運行管理者の寄川修・配車担当マネ

## 結果 データ化 記録簿出力、容易に

「ジャーは「デジタル化したことで書類を作成しやすくなり、以前に比べて時間を短縮できている。アルコールチェッカーとも連携しており、飲酒運転の防止をはじめとした安全運転にもつなげられている」と説明する。

越野社長は「点呼時の画面には『安全意識に関する重点ポイント』のような目標も表示されており、ドライバーの気持ちの切り替え、運転のメリハリにもつながっていると思う。一層の事故防止、生産性向上のため有効に活用したい」と話している。（黒須晃）

（面担 安藤泉）